

- 桜井こどもフェスティバル／桜井学区連合子ども会
- すくすく畑で地域のボランティアさんと／報徳小1・2・6年
- 田植え／桜井・報徳小5年

地域交流 子どもの成長

たのしみ

桜井こどもフェスティバル

by 桜井学区連合子ども会

桜井学区の子どもたち全員が集まるイベント

平成30年度は『アンディー先生のマジックショー』を開催しました。北条五代祭り(市子連主催)や桜井こどもフェスティバル等に参加することで、地域を知る、愛する気持ちが持てればと思っています。自治会と協力して、公民館祭りやおみこし、すもう大会、お芋掘りなどの活動もしています。時代に合わせて、無理のない形で地域の活動に参加しやすくなるように話し合っていきたいです。

●時期▶6月末の日曜日 ●場所▶桜井小体育館 ●場所▶子ども会会員とその家族 ●主催▶桜井学区連合子ども会

体験学習 地域交流

まなぶ

すくすく畑で地域のボランティアさんと

by 報徳小1・2・6年

地域ボランティアさんのご協力のもと楽しい収穫タイム

タマネギの収穫 1・2年生

昨年度、植えた「タマネギ」が順調に育ち、1、2年生が収穫しました。昨年に引き続き、今年も大収穫で、子どもたちが3個ずつ家に持ち帰りました。給食で使う分を除いても、まだ残るくらいです。学校で保存し、大切に活用していきたいと思います。



ジャガイモの収穫 6年生

昨年度末に植えたすくすく畑のジャガイモを収穫しました。ボランティアさんたちの多大なるご支援・ご協力のもと、子供たちは、とっても楽しい収穫タイムを味わいました。今年度は、実に豊作です。



子供たちは家へ持ち帰り、給食室に届けました。さらに2年生の親子レク用にプレゼント、交流している1年生にもプレゼントしました。7月には調理実習で、ジャーマンポテトに挑戦する予定です。

尊徳学習 体験学習 地域交流 地域の歴史

まなぶ

田植え

by 桜井・報徳小5年

収穫の秋にたくさんのお米ができるといいな

酒匂川の近くにある桜井小学校の田んぼに、各クラス一列に並んで苗を植えました。膝のすぐ下まで泥に埋まり、色々なところを泥だらけにしながら一つ一つ丁寧に植えました。一歩進むだけでも一苦労で、昔の人が苦労して田植えを行ったことを実感しました。(桜井小5年)



二宮尊徳捨苗栽培地跡で田植えをしました。田植えは初めての子どもが多かったのですが、桜井稲作組合の皆さんのご指導により、一株ずつ丁寧に植えていきました。田植歌保存会の皆さんによる田植歌や報徳幼稚園児が応援する中、どの子どもも真剣な表情でした。近くの小川で足を洗いながら、「とても楽しかった」「もっと植えたい」と子供たちの声でした。その後、報徳ランドの「ミニ田んぼ」の田植えもしました。自分たちの足で踏み込んで整えた田んぼです。上手な手つきで植えることが出来ました。(報徳小5年)

●協力▶稲作組合／栢山田植え歌保存会／かながわ農協

昔を知る

大正時代初期の田植

東栢山の田植は、早い家で6月上旬、最盛期は10日から20日頃までで、田園が日増しに緑化してゆく。

各戸で田植の日を決め、近所・親戚との相互共同のやりくりで下働きが大勢集まり、早朝から早乙女(田植をする女性)が苗を束ねる。その間に男衆は田の「上シロ」「ナラシ」をするもの、「シロ縄」を張るもの、苗場から苗束を運ぶもの、その苗を縄張りの中に投げ入れるものなど、見事に作業が行われる。田植の方式は、縄張りの一間に早乙女が1人入り後ずさりして植えていく。

早乙女が苗を取り終わると、あぜ道にむしろを敷いて午前中の昼食を取る。子供たちにとってこれが何よりの楽しみであった。田植えの時期は入梅であるので、男も女も雨具を用意した。

ほたる狩り

入梅時期になると田園一面に星をまき散らしたように、ホタルの群れが飛び交った。

特に川のほとりに多くいるので、ホーキで舞っているホタルを落とし、草むらをかき回す。するとホタルが光るので、露草を入れた「ホタルかご」に入れて、家の中の暗闇においてその光を楽しんだ風流な思い出がある。

終戦後、稲作に化学肥料を使い、病害虫のガス消費をするようになり、次第にホタルが少なくなり大変寂しい限りである。